

## シリーズ the グリーン購入 vol.6 『パソコン』

### 【ちょっと待って、「グリーン購入」って？】

グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際、環境を考慮し、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを優先的に購入することです。

杉戸町では、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」いわゆる「グリーン購入法」が施行されたことを受け、町での運用管理を推進し、全庁が一体となった環境物品等の調達を目指すため、「第2次杉戸町環境保全率先実行計画」(平成20年3月策定)において、町が特に調達を推進する物品等の品目やその調達目標を定めた「杉戸町グリーン購入ガイドライン」により、取組の更なる推進を図っています。

### 【改めまして、『パソコン』の選び方です】

このシリーズでは、町の「グリーン購入ガイドライン」の内容と共に、国による「地方公共団体におけるグリーン購入取組ガイドライン」の内容も紹介いたします。

内容に若干の差異が生じることもございますが、各部署、出先施設・機関では、原則として、町の「グリーン購入ガイドライン」に準じるものを推進しています。

#### 第2次杉戸町環境保全率先実行計画「杉戸町グリーン購入ガイドライン」より抜粋

品目名	着眼点	判断の目安及び判断の基準
電子計算機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー消費が少ないこと</li> <li>・<b>配慮2</b> 再生プラスチック材の一度使用された製品からの再使用部品が多く使用されていること。</li> <li>・<b>配慮3</b> 「資源の有効な利用の促進に関する法律」の判断の基準を踏まえ、製品の長寿命化・省資源化や部品・素材の再利用のための設計上の工夫がなされていること。</li> <li>・<b>配慮4</b> 再使用、再生利用又は適正廃棄が容易なように、分離・分別の工夫がなされていること。</li> <li>・<b>配慮5</b> 製品の包装は、再生利用の容易さ、廃棄時の負荷低減に配慮されていること。また、包装材の回収及び再使用又は再生利用システムがあること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコマークがついているもの。(「3R、省エネ設計」と書かれている)。もしくは、緑色の省エネ性マークが付いているもの。</li> <li>・上記を満たさないものについては、国の「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」の「判断の基準」を満たすものであること。</li> </ul>
磁気ディスク装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>配慮6</b> 使用済み製品(使用された二次電池を含む。)の回収及び再使用又は再生利用システムがあり、再使用又は再生利用されない部分については適正処理されるシステムがあること。</li> <li>・<b>配慮7</b> 使用する電池は、カドミウム化合物、鉛化合物及び水銀化合物を含まないこと。ただしそれらを含む電池が確実に回収され、再使用、再生利用される場合や、適正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑色の省エネ性マークが付いているもの。</li> <li>・上記を満たさないものについては、国の「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」の「判断の基準」を</li> </ul>

	処理される場合は、この限りではない。	満たすものであること。
--	--------------------	-------------

環境省発行「小規模地方公共団体のためのグリーン購入ガイドライン」より抜粋

環境配慮型製品の選び方

# パソコン

**Point 購入時のポイント「マークと機能をチェック！」**

- 省エネラベル(右下図)の数字が100%以上で、より高いものであること  
このマークは「省エネラベリング制度」によって作られたものであり、基準エネルギー消費効率をどの程度満たしているかが示されている
- 搭載機器の選択性があること  
(カスタマイズ可能であること)
- 特定化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)を含まない製品であること  
→ J-MOSS ラベル(右図)を参考にすると選べる

※右(本来はオレンジ色)のラベルは基準値を超えるもの

<省エネラベル>

省エネ基準達成率 **100%**

通年エネルギー消費効率 **6.6**

目標年度 2010年度

<省エネラベル>

省エネ基準達成率 **90%**

通年エネルギー消費効率 **6.0**

目標年度 2010年度

<J-MOSS ラベル>

<J-MOSS ラベル>

**Plus 配慮するポイント**

- 再生材料を利用するものを極力選ぶ
- 植物樹脂を使用しているものを極力選ぶ → 両方とも製品仕様に記載があります

**Cost コストについて「スリムになってコスト削減！」**

エネルギー消費効率のよい製品を購入すると、パソコン使用時の電気料金を抑えることができる  
また、過剰なオプションと過剰な性能を搭載させないことで、購入時のコストも下げられる

<購入価格と消費電力の変動>

ノートパソコンベーシックタイプ  
【84W】<60,480円>

(主な構成)メモリ: 512MB  
CPU: sempron3400+

(上記へのアップグレード例)  
メモリを1GBへ【+5W】<+9,030円>  
CPUをAthlon64×2 4200+へ  
【+27W】<+22,155円>

(上記へのオプション例)  
アナログ回線モデム【+1W】<+1,575円>  
カードリーダー【+5W】<+1,995円>

5年間トータル金額

項目	標準 (A)	アップグレード (B)
本体価格	60,480円	95,235円
電気代	15,330円	22,265円
合計 (5年間)	75,810円	117,500円

上図のアップグレードとオプションを加えた場合 (B) と標準装備の場合 (A) で5年間トータルコスト比較すると右図の通りです。(1日5時間 365日使用し、1kwh=20円とした)

※但し、本体価格などについては参考情報



**Use** 使用のポイント「こまめな調整で無駄にしない！」

1. 画面の明るさを適切に調整する。しばらく使用しない場合は画面をオフにする
2. しばらく使用しない場合は、スタンバイ（スリープ）モードにする
3. 状況に応じた機能のカスタマイズを行う

例) 多くのオフィスではLANによるネットワークが構築されており、相互のパソコンにアクセスできるため、課内のパソコンの1台だけが持つ機能を他のパソコンでも利用できる。

例えば、フロッピーを読むことができるパソコンが1台あれば他のパソコンのフロッピードライブを省略することも可能

**Eco** 取組の背景「オフィスに占める電力 高し！」

パソコンなどOA機器は、オフィスに急速に普及しているため、オフィスの消費エネルギーを増加させることにつながっています。

また、パソコンのリサイクル率は確立されていますが再資源化率は平成15年度で最も高いデスクトップパソコンで約78%（環境省報道資料値）となり、過剰に保有することは資源の枯渇につながります。

必要な機器に必要な機能を持たせ、適正な利用を行うことが総コスト（購入時、使用時、廃棄時など）の削減や作業効率の改善につながります。



ビルのエネルギー構造（出展：省エネルギーセンター）

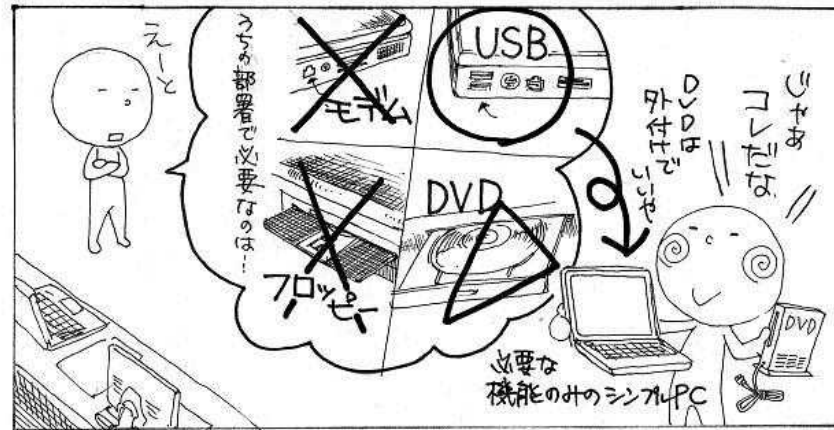


# パソコン



## 購入時のポイント

- 基準エネルギー消費効率を満たしていること (省エネラベル)
- 搭載機能に選択性があること (カスタマイズ可能)
- 特定有害物質を含まない (J-MOSSラベル)
- 再生プラスチックを使用しているものを選ぶ



環境のはなし  
資源の節約  
地球温暖化の防止

コストのはなし  
不要な機能のカットで  
コストダウン可能

### 【豊かな時代だからこそ、考えるべきコトがある...】

人の暮らしにはモノが溢れています。そこで、生活を見直し、モノ選びも見直す。自分がどれだけ買って、どれだけ使っているのか？それが環境にどのような影響があるのか？...を知るによって、環境に貢献しよう...というのが「グリーン購入」の主旨です。

杉戸町では、積極的に「グリーン購入」を实践(環境配慮製品を購入)し、住民・事業者の皆様への率先垂範を目指しています。

